

発行所
日本赤十字
新労組連合会
(略称「日赤新労」)
東京都港区西新橋3-14-5
Tel・東京434-7080
発行責任者
山景 勇

日赤新労ニュース

- 綱領
- われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて、われわれの権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
 - われわれは、常に暴力と独裁を排し、自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
 - われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。



第一回中央委員会々場
日本女子会館



6月23日 第一回中央委員会開かる 於 東京・日本女子会館

- 本年度第一回中央委員会は、六月二十三日、東京芝公園、日本女子会館において開催され、重要課題である、ベネフィットアップ、組織拡充、年金制度等について基本方針並びに具体策の討議が行われた。参集中央委員次のとおり
- 第一プロトック
大久保善弘(八戸日赤)
吉田 栄司(盛岡日赤)
- 第二プロトック
「柴山定男代理」
池田厚二(大田原日赤)
松村 勝(足利日赤)
高橋 松治(前橋日赤)
柳田 町子(水戸日赤)
小川 幸継(中央病院)
福岡 康之(浜松日赤)
- 第三プロトック
山田 正(名一日赤)
村岸 義則(名一日赤)
小瀬 勇(名二日赤)
鈴木豪随(愛知県支部)
- 第四プロトック
浦和 安彦(山田日赤)
- 第五プロトック
定久 正夫(鳥取日赤)
福永 貞雄(鳥取日赤)
池上 和男(岡山日赤)
青山 圭一(岡山日赤)

【報告】

一般経過報告 山景書記長
第七回定期大会以来の本社交渉本部書記局活動状況等詳細に亘つて報告した。

【各部報告】
総務(大坪)調査(川越)組織(服部)教育(吉村)婦人(竹洞)の各担当よりそれぞれ大会後の事情等報告した。

【質疑応答】
報告事項について、一般報告、各部報告を一括して質問に入る。なお、傍聴者についても先般の大会に準じ、発言権は之を認めることになった。

(守屋「岡山日赤」)
益田「日赤新労組」について色々の噂を聞くがどうなっているか。
(川出)
事実上空で分断したのと思うその裏には、人事問題、全日赤との関係、同盟加入による組合費の問題等がある模様である。
(小川「中央病院」)
昇格基準問題で盛岡日赤が紛争を起したようであるが本部の態度を聞きたい。
(堀江)
本部から三役、盛岡日赤単組か

【審議】

(一) 本年度ベネフィットアップについて
(川島)
ベネフィット並びに新聞報導等によれば本年も八割程度の人事院勧告がなされる模様であるが、これについて討議された。

(議長)
この問題について各プロトックの状況を述べられた。
(青山「第五プロトック」)
第五プロトック会議に於て本年度賃上げは、人事院勧告どおりか、国家公務員と同時同率かについて討議したが、結局人事院勧告どおりとすることに、その他署名等提出、要請により資金カンパ等が決議された。
(山田「第三プロトック」)
プロトック会議に於て、人事院勧告どおり実施とし、その他署名等提出、施設長よりベネフィットアップの書をとること等昨年どおり実施することができた。

(松村「第二プロトック」)
第三プロトックと同じである。
(吉田「第一プロトック」)
国家公務員と同時同率とし、リポイント等も考えている。
(浦和「第四プロトック」)
人事院勧告と同時同率の議で行くことになった。
(渡辺「第六プロトック」)
公務員と同時同率という事になった。過去の実績から見てこれが実際のところか。

質上げについては、委員会を作る等長期的基本的対策を立てて貰いたい。
(山田「名一日赤」)
人事院勧告の線に副つてベネフィットアップという本社側の言葉を改めて進めよう進めてほしい。
(村岸「名一日赤」)
独自の資金対策を立てるのは望ましいが、専門的知識が必要であり、むづかしい点もある。取り早い方法として人事院勧告の線を進めるのが正しいと思う。
(堀江)
人事院勧告の線で賃上げを押し進めるといふ考え方には、この上にも立つて具体的問題を討議して行きたいと思う。

(渡辺「唐津日赤」)
賃上げについては、前以つてある程度の検討資料を単組に流してほしい。
(村岸)
最近の物価指数、生計費、賃金上昇率等を勘案する必要があると思う。

(山田)
ベネフィット委員会というふうなものの設置を提案する。
(山景)
今迄資料の提出がでなかつたことをお詫びする。早急に対策を練りたい。

ここで議長は、この問題を整理し人事院勧告どおりとするか、○国家公務員と同時同率か、○長期計画を立てること、○資金専門委員会を設けること、等にいつてこれを踏つた結果次のとおり決定した。

「人事院勧告に基いて賃上げを押し進める」

「執行委員長の諮問機関として、資金対策委員会を設置する」

「資金カンパは、必要により本部から要請あれば之に応ずる」

- ◎ 細部運動方針
- (1) 署名活動の提出
(2) 範囲 職員並びにその家族等一名でも多く。
(3) 提出先 社長、支部長、施設長。
(4) 時期 社長宛のものを七月初日までに本部必着するよう提出すること。
(5) 冒頭要請文は単組自主性に基いて作成すること。
- (2) ベネフィットに対する施設長の回答を

- (4) 回答方法 できるだけ文書によるが、やむを得なければ口頭でもよいこと
(5) 時期 八月中旬に渡れなく本部に報告すること。
(6) リポイントについては本部にすべて一任すること。
(7) 資金カンパは必要に応じて、本部から要請すること。
(8) 資金対策委員会の設置
執行委員長の諮問機関として設置し、各プロトックより一名宛選出することになり次のとおり発表された。
- 第一プロトック 吉田栄司(盛岡日赤)
第二プロトック 高橋松治(前橋日赤)
第三プロトック 詮衡中
第四プロトック 浦和安彦(山田日赤)
第五プロトック 福永貞雄(鳥取日赤)
第六プロトック 鶴田孝之(長崎原爆病院)

- (一) 年金制度促進について
(堀江)
年金制度調査委員会を執行委員長の諮問機関として設定し、組合案件交渉に当たりたい。
(行本「岡山日赤」)
本社は本腰で之に取り組みむ意志があるのか。
(川島)
源泉の問題が何と一つでも一番の難関である。さきに健保崩壊の例もあり簡単にはいかないが、先ず第一歩を踏み出したい、見通しが全くない訳ではない。
- ここで、調査委員が各プロトックより次のように発表された。
- 第一プロトック 安田文蔵(秋田県支部)
石巻一名(氏名後報)
- 第二プロトック 小川幸継(中央病院)
- 第三プロトック 宮原義彦(名一日赤)
- 第四プロトック 浦和安彦(山田日赤)
- 第五プロトック 行本昌平(岡山日赤)
- 第六プロトック 野見山淑夫(筑前山田日赤)

- (二) 学習会開催について
(1) 時期

九月六、八日または、十三、十七日の三日間とする。

②場所 滋賀県大津市近郊、中ノ島公園青年会館

③講師 大阪市立大学教授 小川氏

④日程 第一日 交流会 第二日 講演(午前九時より午後三時まで)

⑤その他 中堅層の出席を希望する。旅費は単組一名限り交通費を本郡より支出する。

(四) 忌服について 本郡側は、政府で施行されているものをその儘出して来たが、これには一長一短があるので、どのようにするか検討して貰いたい。(福永「鳥取日赤」)

(五) 組織専門委員の選出 組織拡充については、中央委員即ホルグ要員として活動することになつては、必ずしも適切に実行されてない実状から、新たに専門委員を置くことに意見がまとまり、次期中央委員会までに、各ブロック毎に委員一名を選定し、本部に報告することに決定した。

(六) その他 ①俸給の調整額について ②技師待遇改善の問題 ③薬剤師管理手当、危険手当並びに血液センター職員に対する待遇改善について ④医師住宅問題について

是等はそれぞれ討議され、ベイスアップに伴う調整、危険、整備管理手当の問題として、本社交渉を行ない改善をはかることに意見が一致した。

◎ 十勝沖地震 義捐金について

八戸並びに盛岡日赤単組に対し、現在(六月二十三日)集つて一五六、二〇〇円を、被害の程度により、盛岡日赤単組に一〇、〇〇〇円、残りを八戸日赤単組に贈ること意見が一致し、盛岡日赤単組中央委員並びに八戸日赤大久保中央委員に、目録を添え手渡した。

本年度第一回 婦人部代表者会議開かる

六月二十一日 於東京日本女子会館

本年度第一回婦人部代表者会議は、東京港区日本女子会館に於いて、中央委員の前日の二十二日に開催された。

梅雨に入りむし暑い中を遠路はるばる参集された単組代表者、傍聴者を併せて三十五名出席し終始活発な意見の交換あり盛況裡に終了した。

竹洞婦人部長の開会の挨拶があり、次いで議長には名一前婦人部長原貴子さんが選ばれ、書記に鳥取の太田翠さんが任命され議事日程に依り、討議が進められた。

一、執行委員長挨拶 近年婦人部の活躍は目覚ましいものがあり盛岡単組に於いては、婦人の執行委員長が誕生している。

二、本部経過報告 山景書記長より、夏期手当及配偶者の恩給による本社同交の結果及び、十勝沖地震による八戸、盛岡の被災状況に於いての経過等、詳細に説明があつた。



婦人部代表者会議

運動会、ダンスパーティー、他単組との交換旅行等。 ◎福利厚生面 日用品、食料品、衣料品の販売、雨傘の貸出し等。 ◎趣味 手芸教室、活花、茶道、料理講習等。 ◎その他 組合意識高揚のため学習会、医療職員として、救急法の講習等。

1 前年度活動状況 副部長に金山喜保子さんが選ばれ第二回会議には部長代理として出席されている。

(イ) 婦人部新設置は一単組 (ロ) 託児施設について 本社として、経済的裏付けは出来ないが、各施設に於いて、実行された。新しく設置をみた単組はなし。

(ウ) 有給休暇の活用 安心して休めるよう、代替要員をおくべく努力交渉してきたが、完全獲得は、二、三の単組を除き不可能だった。

(エ) 婦人部の交流 第二、第五ブロックで、ブロック会議と併行して婦人部会を開き、成果があつた。

(オ) 盛岡日赤単組の新鋭、吉田京子さん(単組執行委員長)が選ばれ、婦人部の待遇改善と福祉のために努力したい旨の力強い挨拶があつた。

2 本年度活動方針 第一回婦人部代表者会議に当り、さきに調査した資料によると婦人部設置単組は十八となり昨年より三単組増えました事は今後の婦人部活動をより活発に進めて行くためにまことに嬉ばしい事である。

活発な討議がなされた。 ◎婦人部会議の持ち方について 学習会を同時に開きたいとの希望が多く、午前より午後までとした。

◎産前産後の貸金カセットを、公務員並にしてほしい。 ◎人事院勧告による「夜勤八日制」を実現してほしい。

感想文 「婦人部会議に臨んで」 福岡県支部 吉岡澄恵

組合に於いて、無知な私が四月から、新役員をおおせつけられその責任の重大さに悩みました。

以上、右の三項目については、本部提案がなされた。 ◎育児休業に関する件(電々公社) 育児休業に関する件(電々公社) 育児休業に関する件(電々公社)

十勝沖地震の被災に対する皆様のお御同情、御好意に心から感謝いたします。志を一つにする仲間と、大切なことをしなす仲間を、皆様の御厚情に感謝の言葉もありませんが、次に当時の状態を御報告してお礼にかえたいと存じます。

十勝沖地震の被災に対する皆様のお御同情、御好意に心から感謝いたします。志を一つにする仲間と、大切なことをしなす仲間を、皆様の御厚情に感謝の言葉もありませんが、次に当時の状態を御報告してお礼にかえたいと存じます。

大波のように揺れる床、あたりに漲る異様な空気、物音、恐怖に一時自失しましたが、患者さんを守らねば、との意識に自分を取戻し、壁の落した廊下を馳せ、病室を廻り、一人一人力づけて安心させました。

幸い一人の事故もなく又職員も全員無事であつた事は不幸中の幸いであつたと思つてます。

大きく亀裂した渡廊下、倒れた備品、機械、落下して散乱した薬品カルテ、書類、全くの混乱状態に一時は呆然としましたが、気味悪く続く余震の中を復旧作業に掛り夕刻には大体の整理を了つたので十七日、水道、ガスは復旧した。いま、病院業務を開始しました。

一方、市の周辺の町村に、山崩れ等による死者が出たので、直ちに救護班を編成出動、陥没、地割れした道路を強行し被災者を巡回し、救護所を開設して被災者の救護に当り、赤十字の使命を果しました。

余震は其の後も毎日繰返えし、不安な状態が一ヶ月程も続きました。が、それも何時か間遠くなり此の頃やつと納まつたようです。

組合員の家でも、新築の家の土台が崩れたり、壁や床が落ちたり、食器・家具類が破損したりで、相当の被害がありました。皆様の御援助に被災者一同感激しております。

尚当日会議のあと、参加者全員に感想、希望等を書いて頂きました。とら、次の様な事柄について、 ◎女子職員の組合意識が低い。 ◎労働者としての自覚と勇気が、足りないと思う。 ◎会議の時間が短かい。 ◎レクリエーション等お入り込んで欲しい。

◎有意識、勉強になった。 ◎大いに勇気がわいて来た。 ◎職場に於ける上司、特に婦長に理解がないので活動が、出来ない事が多い。 ◎発言者が多く活発になつて来た。 ◎楽しかった。

第五ブロック会議報告 八戸赤十字病院職員組合

六月十六日、昭和四十三年第一回の第五ブロック会議が岡山で開催された。

本部より川島委員長、山景書記長の出席を得て二十七名という今迄にない多数の参加人員で、会議は開かれた。

中央委員会議の他に、単組提出議題もあり、白熱した討議が終始くりかえされた。

本部も単組の実情、前進の方向での斗争の強化等第五ブロックの意気のあるところを充分把握されたことと思う。

なお、前日十五日には懇談会を行い、親睦をはかった。



プロファイル 竹洞婦人部長 八戸日赤

昭和八年陸奥湾を望む青森市に産声をあげる。津軽美人を標榜するような、色気たつぷりな彼女の学校時代は、太平洋戦争から戦後の混乱時代を経ておりますが、持前の陽気な性格から、院内に於てもなかなか人気があります。彼女のフアイトが、才智と共に仕事の面にも反映し、若冠二十八才で婦長の職に昇つたのであります。数年前、病院の在院危しと見るや、過激な旧弊から、脱退の先頭を切り